

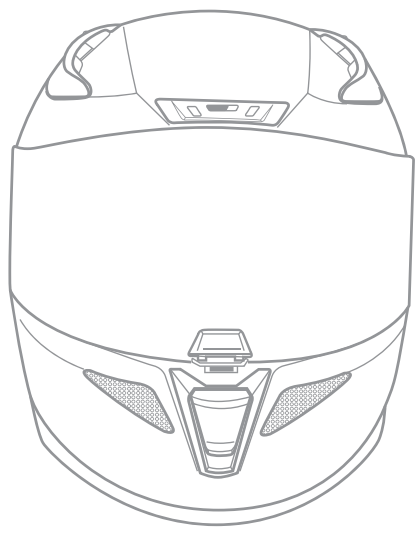
RPHA 11

Owner's Manual



製造元 HJC corp. 23, SEORI-RO, RIDONG-MYUN
CHEOIN-GU YONGIN-SI, KYUNGKI-DO,
KOREA TEL.82-31-333-5451

販売元 株式会社 **アールエス тайチ**
〒578-0901 大阪府東大阪市加納6-4-9
TEL.072-874-3268 FAX.072-874-3385
e-mail: taichi@rs-taichi.co.jp



Warning!

ご使用になる前に必ずお読みください

この度は、H J C ヘルメットをお買い上げ頂き、ありがとうございます。この取扱説明書はH J C ヘルメットの正しい取り扱い方法について説明しております。ご使用になる前に必ずお読み頂き、安全快適なバイクライフをお楽しみください。又、ヘルメットの取り扱いをご存知の方もこのヘルメット独自の装備、取り扱いがございますので、必ずお読みください。またお読みの後は大切に保管しておいて下さい。

- ・**あご紐**はしっかり締めてください。あご紐を締めなかったり、ゆるい締めかたでは走行中にズレたり、万一転倒した時に脱げてしまい、顔を守る事ができません。
- ・走行中にエアインテークのシャッターを操作しないでください。走行中のシャッター操作は、オートバイの操縦に支障をきたす原因となり危険です。操作は、必ず停止した状態で行ってください。
- ・汚れや傷のついたシールドで走行しないでください。走行中、視野の妨げになりますので、汚れたシールドは走行前に汚れを落とし傷の付いたシールドは新しい補修部品に交換してください。
- ・走行中の環境変化に対する注意。突然の雨や急激な温度変化によってシールドが曇る場合があります。この様な状況が予測される時は、走行前にシールドの曇り具合を調整し、通常よりスピードをおさえ走りしてください。
- ・大きな衝撃を受けたヘルメットは外観上損傷がなくてもご使用しないでください。ヘルメットは、シェル及び衝撃吸収ライナーが潰れる事で衝撃エネルギーを吸収し、衝撃を受けた後は既にライナーが潰れている場合が多く、これではイザという時、再度衝撃エネルギーを吸収できず非常に危険です。
- ・改造は絶対しないでください。ヘルメットに穴をあけたり、削ったりする事は、性能を損ない非常に危険です。また、着脱可能な部品を取り外したままでの走行も大変危険です。
- ・ヘルメット及びシールドのお手入れには薄めた中性洗剤をご使用ください。熱湯(50度C以上)や塩水、ベンジン、シンナー、ガソリン等を使用すると本体及びシールドに悪影響を与えますので、絶対に使用しないでください。汚れた中性洗剤を薄めて柔らかい布で拭き取る様にしてください。
- ・ヘルメットに塗料、接着剤、ガソリン、その他何なる溶剤もつけないでください。溶剤によりシェル及び衝撃吸収ライナーが侵され衝撃吸収力が著しく低下します。
- ・ヘルメットを持ち運ぶ時のご注意。ヘルメットは必ず本体又はあご紐を持って取り扱ってください。内装やシールドをつかんで持ち運ぶとヘルメットを落とす恐れがあります。又ヘルメットをオートバイのホルダーに付けたままの走行はおやめください。ヘルメットに傷を付けるばかりか、オートバイの操縦に支障をきたすことがあり大変危険です。

S G マークのマークの被害者救済制度について

ヘルメットについている S G マークは、万一ヘルメットに欠陥があり製品安全協会の定める認定基準に適合していないため着用者がケガをした場合など身体的損害について賠償するものです。但しオートバイを特殊な用途(レースカーカス等)に用いている際の負傷や認定基準の定めるヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けたための負傷等は賠償の対象になりません。

製品の欠陥により事故がおきた場合は

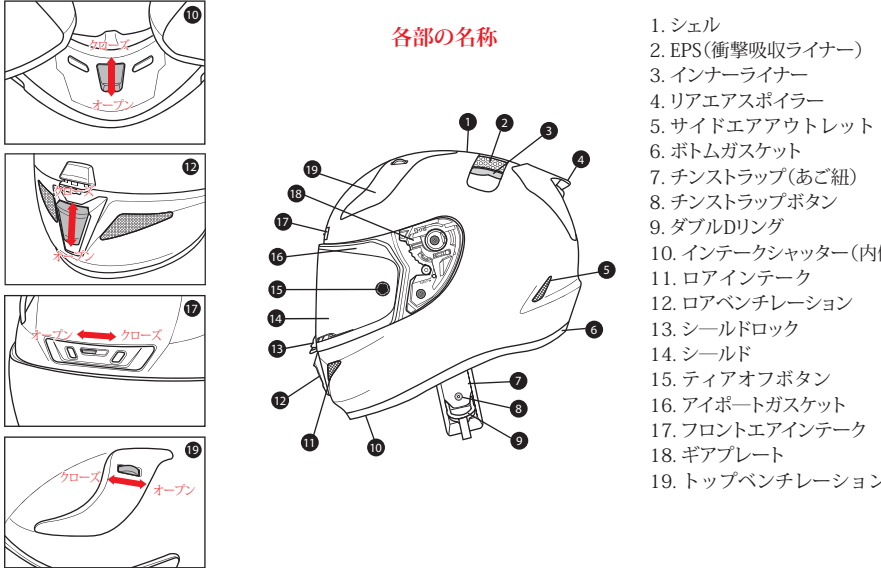
- 『賠償手続きは以下の通りです』
- 1. 製品の欠陥による事故がおきたら、すぐ製品安全協会 消費者生活用品 P L センターへ連絡してください。電話番号は03-5808-3303です。
- 2. 『事故発生届』又は『賠償措置実施請求書』を提出してください。(原則として事故発生より6 0日以内)
- 3. 事故の状況を伺うとともに、事故品について精密な点検や試験を行います。
- 4. 以上の調査結果を検討して、賠償するかどうかが決定します。

S G マークについてのお問い合わせ先

〒110-0012 東京都台東区竜泉 2-20-2 ミサワホームズ 三ノ輪2階
製品安全協会 消費生活用品部 P Lセンター
電話番号 03-5808-3303

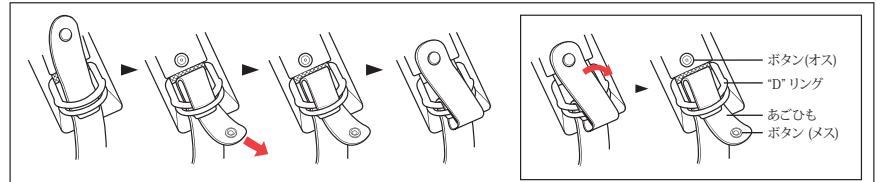
▲警告 ヘルメットの保護能力には限度があります。
H J C ヘルメットは国の定める安全基準を十分満たしておりますが、いかなる事故や転倒に対しても絶対安全という訳ではありません。ヘルメットは万一の事故や転倒の際、外部からの衝撃を軽減するものにはすぎません。

- ・**▲警告** 必ず守って頂きたい注意事項
- ・使用 POINT 点検を必ず行ってください。構成部品が正しく取り付けられているか乗車前に点検してからご使用ください。ベンチレーションや内装等の取り付け部品がしっかり固定されているか? スクリュー等が緩んでいないか? 良く確認してご使用ください。
- ・**■** 頭に合ったサイズのヘルメットをお使いください。大きすぎるヘルメットは、走行中くちつき危険です。又、小さすぎるヘルメットは頭を締め付け痛くなる事があります。首を振っても支えない、頭に合ったサイズのヘルメットをお使いください。



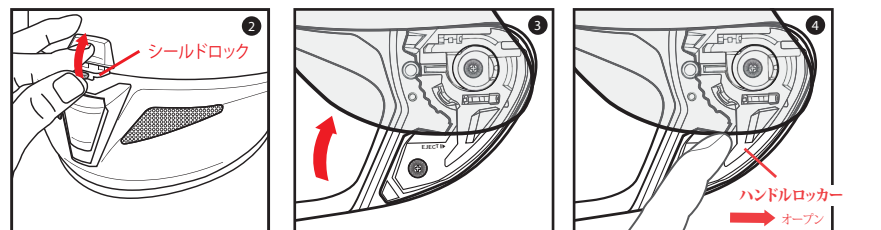
あご紐の締め方

▲警告 あご紐が下の図の様に正しく装着できているか、しっかりと緩みなく締められているか、必ず確認して下さい。あご紐がたるんでいる様であれば、締め直して下さい。確実にあご紐が締められていないと、万一転倒した際にあご紐が外れてしまい、重大な後遺症が残ったり、最悪の場合死亡に至ることもあります。



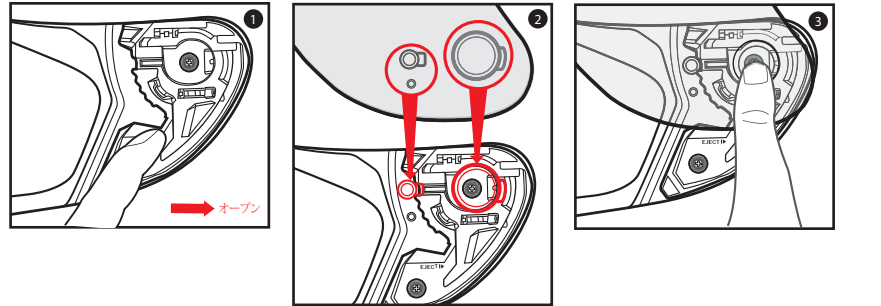
シールドの取り外し

1. スライドロックを矢印の方向へ動かします。
2. シールドロックのタブを持ち上げてロックを外します。
3. シールドを全開にしてください。
4. ハンドルロックを矢印の方へスライドさせて下さい。シールドがギアプレートから外れます。



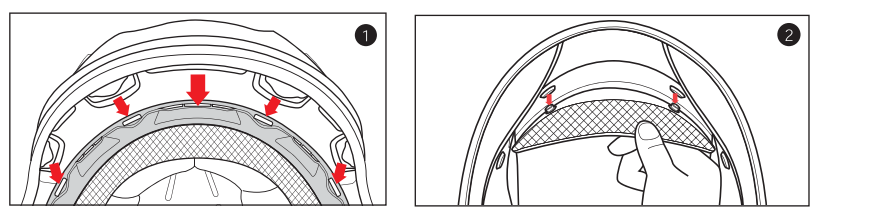
シールドの取り付け

1. ハンドルロックがオープンになっていることを確認して下さい。
2. シールド内側の突起部分を図②の様に合わせ、挿入して下さい。
3. カチッという音がして、シールドが固定されます。



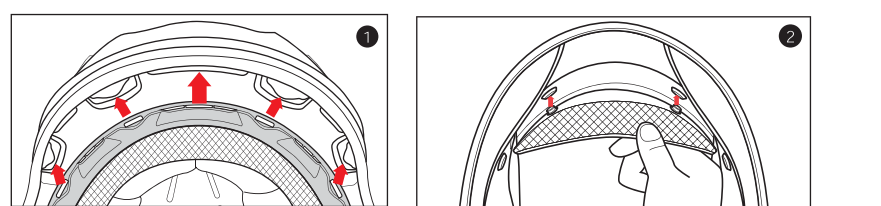
インナーライナーの取り外し

1. 前側の四カ所のツメを持ち上げながら一つずつ外していきま。
2. 後方の二つのスナップボタンを外して下さい。



インナーライナーの取り付け

1. インナーライナーの枠を四カ所のツメの下に押し込み取り付けます。
2. 後方の二つのスナップボタンを取り付けます。



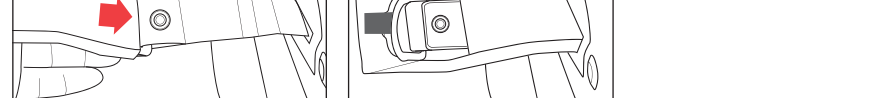
チンストラップカバーの取り外し

1. あごひも付け根のベルクロを浮かせてから、チンストラップカバーの端をつかんで引っ張ります。



チンストラップカバーの取り付け

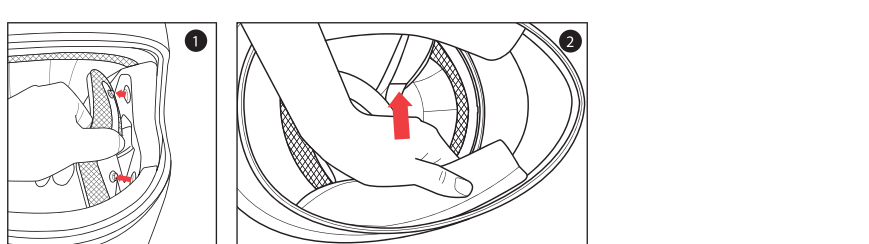
1. チンストラップカバーをあごひもに押し、奥まで挿し込んで内側のベルクロで固定します。



▲警告 ヘルメットを使う前に、パッドが正しい位置にあるかを必ず確認してください。パッドが適切に取付されていないと、事故発生の際、深刻な負傷や死亡の危険が高くなる恐れがあります。

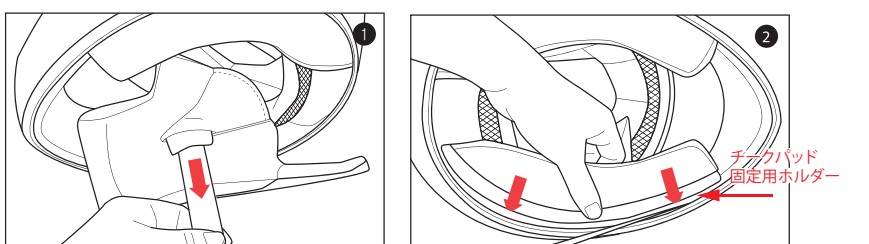
チークパッドの取り外し

1. チークパッドはスナップボタンとプラスチック板で固定しています。
2. チークパッド内側にある3つのスナップボタンをやさしく外して下さい。
3. チークパッドを図②の様に引いて取り外して下さい。



チークパッドの取り付け

1. チークパッドの切欠き部分にあご紐を通します。
2. プラスチック板をシェルとE P Sの間のスキマに入れます。
3. スナップボタンを取り付けます。



※チークパッド側の切欠き部分(A)を固定用ホルダー(B)に挿し込んで下さい。

プレスガードの取り外し

1. プレスガードをつかみ、矢印の方向へ引き抜いてください。



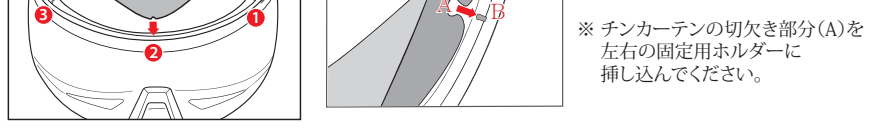
プレスガードの取り付け

1. 図の様にプレスガードを差し込んで下さい。



チンカーテン取り付け

1. チンカーテンの中央を②の位置に合わせ、矢印の方向へ押し込みます。



※チンカーテンの切欠き部分(A)を左右の固定用ホルダーに押し込んでください。

チンカーテンの取り外し

1. 図の様にチンカーテン本体を持ってゆっくり引き上げながら取り外して下さい。

